

I 学校評価前期評価項目で良くなかった項目について。

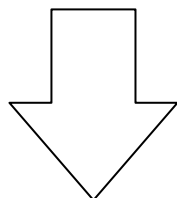
- 8 生徒に課題意識を持たせ、生徒会活動やホームルーム活動を通じて生徒の自立意識を高める。(3. 59)
- 予餞会や卒業式を見せていただいて良くできていて、本当に先生方の努力の証しだと感じている。集会での態度等、昨今の会社の新人や、大学生でもキチンとしたことができないのに、神崎工業高校の生徒はすばらしい。であるのに、評価が低いのはどういう訳だろう。
- 12 「進路便り」等の発行により、進路状況を提供する。(2. 43)
- 13 LHR の時間帯で、生徒に自らの生き方、在り方を考えさせる。(2. 97)
- 「便り」のようなペーパーだけでは、職業観を育成するのに不十分である。ここ10年ぐらいのうちで本校卒業生に話しをしてもらい機会を設けるべきではないか。外部講師も良いが、年齢も近い卒業生に話してもらえば、自分事として捉えやすいのではないか。
 - 家ではほとんど学校のことを話さない。進路についても学校へ来た折りに担任の先生と進路についておはなしするくらいである。
 - 今不況で就職も難しい状況がある。資格取得が大切だろう。企業の評価もだいぶ違うようである。
 - 大学でも今エントリーシートには必ず資格を記入する欄がある。持っていれば有利だ。
 - 本校では1年生に全員「情報処理」を受けさせるシステム、4級は8割方受かってくるが、3級になるとがたっと減ってくる。
 - 資格を取ることを強化して、生徒が競争意識を持って切磋琢磨できる環境を作っていくのがよいのではないか。
 - 資格合格率が大切である。どうしたら生徒が受けてみようと思うか、そのあたりを今模索している。補修をどのような担当で組んでいけばよいのかなど課題がある。
 - OBからも資格を取っておいて良かった、と言う話をしてもらうのもいい。
 - 企業は検定専門の指導員をもうけている。資格取得について専門性の高い人を配置することが大切なのではないか。
 - 1年生の時から進路意識を高揚させる取り組みが必要だ。資格取得に関しても同様だ。
 - 卒業式の答辞でも在校生がどの程度そのようなこと（進路意識）を感じてくれたか。
- 26 教科会議等を中心に、体験的・問題解決的な学習の指導法を研究し、展開する。(2. 88)
- 28 基礎学力テストを実施し、結果に応じて習熟度や少人数指導による指導方法を工夫する。(2. 88)
- 全校生徒に共通する基礎学力（中学生程度）のテストを実施するのも良い。
 - 全校生でグレード別のテストを実施すると、競争心もわいてきて、下級生に越されないよう上級生もがんばる。
 - 高校生レベルまで行かないで十分で、中学真ん中レベルで基礎は十分だ。
 - 社会に出れば高校レベルの学習、特に数学などそれほど関係なくなるが、大学受験には必要。中学での学習がまだ未習塾であれば、それを今一度補っていくことも必要ではないか。それにばかり時間をかけることはないが・・・。
 - 基礎学力の育成をカリキュラムにどのように取り組んでいけばよいかは、いつも教員の中でも話題になり、考えているところである。
 - 積み重ねが大切。現行で時間を捻出するのはなかなか難しい。
 - 前期、後期に1回ぐらいは中学1年レベルでのテストを実施するのもいいのでは。
 - 本人が自分の学力を自覚することも大切ですね。

- 39 ボランティア活動、募金活動等への積極的参加を実施する。 (2. 58)
- 58 ゴミ・リサイクル・省エネルギー等、身近な問題から環境への関心を高め、より良い環境を創造する為の実践力を育てる。 (2. 42)

- 昨年は県の方からクリーンアップ作戦の一環として実施したのものもあるのですが
- こどもたちのボランティア意識はまだ低い
- 外に出かけて行って学校全体でボランティアを企画することより、自分の身の回りでゴミに気がいたら拾ってゴミ箱に入れる等、日頃の生活の中で出せることをこつこつとできる生徒を育てることが大切では。そうすれば、学校も自然にきれいになっていくはず。

II 全体を通してのご意見

- 私どものこどもの場合、中学の頃あまり学校へ行けなかったので基礎レベルの学習ができていないか心配だ。どの程度学力がついているのか、どんなことを学校で学習しているのか見えない。
- 通知票だけではなかなかわからないですね。
- 学校では、授業を受ける態度、授業体制は整ってきていて良くなってきている。こつこつやるのが大切であることが徐々に根付きつつあるのでは。
- 家では本当に勉強するといってもよく分からないし、自分でやはり頭を打って、つまづいて初めてだめだなど言うことが分かると思う。学力も大切ですが社会性を身につけてほしい。親が言うことも大事ですが、社会の人他人から色々と言ってもらうことも大事です。今からそういう出会いを踏みながら大人になっていってもらえる事と思います。勉強できない部分をどっかそのようなものでカバーできればと思うのですが。
- それこそ、生きる力ですね。
- 学校に居場所ができていれば学校へは通ってきますよね。社会性もそこから自然に生まれてくるもので、3年、4年の間にそこを見いだしてくれた生徒は集団生活になじみ学校へ来続けることができているように思います。



まとめ

- 1 卒業生を招いてキャリアガイダンスを行う。
- 2 資格取得の指導をもっと活性化する必要がある。
- 3 資格取得のための専門家チームも必要。
- 4 早い時期から進路意識を育てることが必要
- 5 全校を挙げて基礎学力テストの導入。基礎学力指導の充実。
- 6 日頃、身の回りのことでボランティア意識や環境意識を育てるべき。
- 7 どの程度学力が付いているのか見えない。
- 8 学力も大切だが社会性も身につけてほしい
- 9 学校が生徒の居場所となる指導が大切。